

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州蝶鮫養殖・振興プロジェクト
事業主体 (連絡先)	豊丘村(蝶鮫養殖・振興プロジェクト)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,704,429 円

事業内容

蝶鮫の養殖に意欲的な養魚関係者、成長した蝶鮫の活用(蝶鮫料理)に興味を示す調理師関係者、商工会、金融機関等蝶鮫振興に同意された関係者(総勢20名程度)でプロジェクトチームを結成し、①養殖～②料理(特産品)開発～③PR活動等をモデル的に運営・実施し、蝶鮫養殖技術習得と特産品ブランドづくりに取組んだ。



【チョウザメ料理コンテスト】

事業効果

①蝶鮫稚魚の導入～養殖

蝶鮫の稚魚(15cm程度)を500匹導入し、プロジェクト養魚部会が中心となって、試験養魚を開始した。日常の水温、濁度、酸素量等、最も適した水管理を実施したが、この4ヶ月の間に3割程において死に至ってしまった。一般的に稚魚の成育率は6割程度と言われる範囲ではあるが、原因究明を引き続き探ってまいりたい。

②特産品開発(蝶鮫料理コンテストの開催)

蝶鮫料理に興味を示していただいた管内調理師14名の皆様に対し、蝶鮫の栄養価等の説明会、締め方講習、さばき方講習等を通じ、最終的に11名の皆様に蝶鮫料理の提案(コンテスト形式)をいただき、最優秀賞として「ナポレオンハンバーガー」を決定した。

③蝶鮫広報、PR活動

蝶鮫料理コンテストの開催を通じ、「蝶鮫大使」として県内のタレント「成美さん」にお願いし、蝶鮫PRに取り組んだ。また、このコンテストはNHKを始め県内民放4TV局での報道や各種新聞・雑誌に掲載されるなど、蝶鮫という魚の効能等を広くPRできた。

今後の取り組み

①蝶鮫養殖

引き続き、プロジェクト養魚部会が中心となって日常の管理を行い、新たな稚魚の導入、雄雌判別方法の習得、雌の養魚～キャビアの採取技術習得を図り、この一連の技術を管内で興味を示す方を含め継承し、南信州の真の特産品に育てる。

②特産品開発

蝶鮫のスモークや急速冷凍商品等、南信州のお土産としても開発研究をおこない、来るリニア時代に向けての準備をします。なお、旅館や割烹にも引き続き協力願ひ、蝶鮫料理の提供施設を30店舗以上に増やします。

③PR活動

数年間は、毎年蝶鮫祭りを蝶鮫大使「成美さん」の協力をいただき開催してまいります。また、道の駅で開催することにより、道の駅だより等全国へもPRを広めます。

【目標・ねらい】

- ①蝶鮫稚魚を500匹導入し、養殖技術の習得と継承
- ②蝶鮫料理を始めとする蝶鮫関連特産品開発
- ③蝶鮫を広く知らしめ、養殖～消費の流通システムの構築

※自己評価【A】

【理由】

養殖技術の向上が図られたほか、蝶鮫大試食会(蝶鮫祭り)は中止となってしまったが、蝶鮫大使の任命や、料理コンテストにおけるTV、新聞社、情報誌等あらゆるメディアに取り上げていただき、初年度として大きな周知が図られた。